

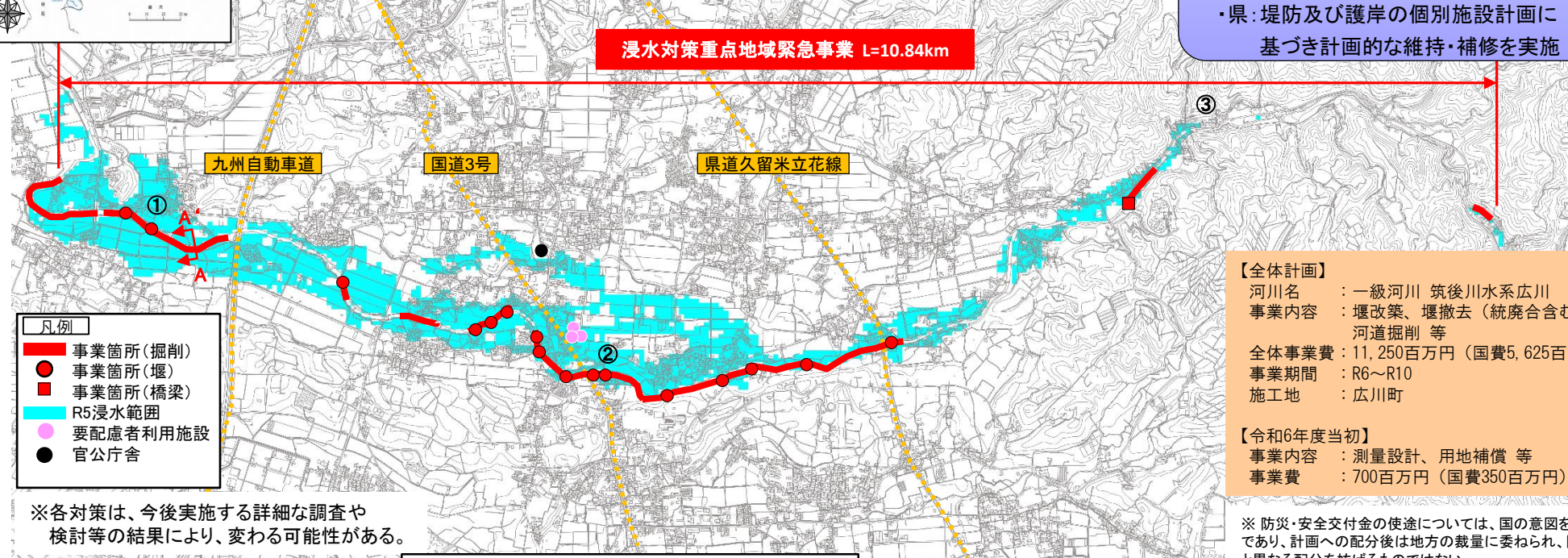
浸水対策重点地域緊急事業【筑後川水系広川】（福岡県）

ちくごがわ ひろかわ

福岡県の広川では、令和5年7月の豪雨により、床上浸水62戸、床下浸水250戸の甚大な浸水被害が発生した。このため、浸水対策重点地域緊急事業により、堰改築等を集中的に実施するとともに、立地適正化計画の制度等を利用した、災害リスクを踏まえた土地利用の取組等の流域対策を推進することで、早期に地域の安全性の向上を図る。



- 〈県等の独自事業〉
- 県単独事業**
 - ・県：河道掘削（堆積土砂撤去）
 - ソフト対策**
 - ・県：自主防災組織の防災備品購入補助
 - ・町：立地適正化計画の策定
 - 適切な維持管理**
 - ・県：堤防及び護岸の個別施設計画に基づき計画的な維持・補修を実施

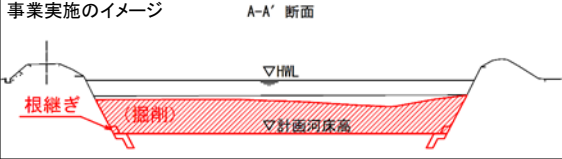


【全体計画】
 河川名：一級河川 筑後川水系広川
 事業内容：堰改築、堰撤去（統廃合含む）、河道掘削等
 全体事業費：11,250百万円（国費5,625百万円）
 事業期間：R6～R10
 施工地：広川町

【令和6年度当初】
 事業内容：測量設計、用地補償等
 事業費：700百万円（国費350百万円）

※各対策は、今後実施する詳細な調査や検討等の結果により、変わる可能性がある。

項目	浸水家屋(戸)		
	床上	床下	合計
R5.7豪雨	62	250	312



【事業効果】
 ○令和5年7月豪雨と同規模の洪水に対して、河川からの氾濫による床上浸水被害について約9割の軽減を目指す。